



東北大学



平成27年4月14日

報道機関各位

東北大学災害科学国際研究所

**震災の教訓に関する2つのデータベース  
「3.11からの学びデータベース」  
「震災教訓文献データベース」  
を公開しました**

災害に強い社会をつくる上では、まず過去の例、特に「教訓」を学ぶことが重要です。通常、大学・研究機関では、学術論文・書籍・講演等によって、研究によって得られた知見の発信を心がけていますが、一般的に広く目にする機会は多くないと思います。

東北大学災害科学国際研究所では、「教訓」に関する情報のみを取り上げて、検索しやすくかつインターネットで閲覧できるウェブサイトとして以下2つのデータベースを構築・公開いたしました。

「3.11からの学びデータベース –IRIDeSから発信する東日本大震災の教訓空間–」

<http://311manabi.irides.tohoku.ac.jp>

「震災教訓文献データベース –論文・報告書がしめす震災教訓の検索システム–」

<http://edbunken.irides.tohoku.ac.jp>

つきましては、本データベースを紙面・番組等でご紹介くださいますよう、広報へのご支援をお願いいたします。

■お問い合わせ先

東北大学災害科学国際研究所

責任者：今村文彦（所長・教授）

開発・運用担当：佐藤翔輔（助教）

TEL&FAX 022-752-2099

[ssato@irides.tohoku.ac.jp](mailto:ssato@irides.tohoku.ac.jp)

## 【詳細】

### ● 「3.11 からの学びデータベース」

調査・研究で得られた災害に関する「教訓」に特化し、「あのときの教訓は何だったのか」を簡易的に調べられる参考サイトとして公開しています。各「教訓」は、当研究所の教員が、出典とともに、なるべく平易にわかりやすく解説を行っています。現在、本データベースには、約 100 件の「教訓」が掲載されています。



3.11からの学びデータベース  
- IRIDeSから発信する東日本大震災の教訓空間 -

トップページ | 調べる | 3.11からの学びデータベースとは | 関連リンク

検索

フリーキーワードを入力して検索するか、下部のタグクラウドからキーワードを選択してください

登録者	対象	カテゴリ	フェーズ
佐々木宏之 丸谷浩 明 富田博秋 村尾修 伊藤潔 ジェレミ ー・ブリッカー 久 利美和 大野晋 松本 行真 日野亮太 杉浦 元亮 越村俊一 サッパ シー・アナワット 井内加 奈子 今村文彦 佐藤翔輔 千田浩一 安倍祥 栗山進 一 福谷陽 細井義夫 金進 英 三浦晋 中山雅晴 五十子	自治体 住民 医療機 関 国 企業 研究機 関 気象庁 マスコミ 政 府 研究者 医療会館 土木コ ンサル 学会 学校 消防 警 察	受援計画 津波避難 災害医療 建物被害 災害情報 組織対応 被害想定 ハザード 評価 健康問題 こ ころのケア コミュニ ティ 津波被害 BCP 災害伝承 耐震 観測 防災教育 高台移転 まちづくり ライフライン 仮設住宅 備蓄 原発避難	事前 応急 緊急 復 旧・復興 事前、応急

図1 「3.11からの学びデータベース」のトップ画面

● 「震災教訓文献データベース」

震災に関する調査・研究について記述された論文，報告書といった文献中に見られる「教訓」を整理し，それを公開して，簡易的に検索できるデータベースを作成しました。具体的には，論文，報告書の「結語」に着目して，それを「教訓」と読み替え，テーマ，フェーズ，空間，立場などのタグを付与して，検索できるようにしています。本データベースには，約 4,000 件の「教訓」が掲載されています。



図2 「震災教訓文献データベース」のトップ画面

2つのデータベースでは，「教訓」ごとにタグ付けを行っており，ウェブサイト上で簡単に「教訓」を閲覧することができます。「3.11 からの学びデータベース」は，登録者，対象，カテゴリ，フェーズ，場所で，「震災文献教訓データベース」は，作成者，雑誌名，学会名，災害名，対象，カテゴリ，フェーズ，場所をキーにして検索することができます。タグを使った検索は，トップ画面で，タグクラウドをクリックしたり，詳細検索場面で複数選択して行うことができます。このほか，フリーワードによる全文検索を行うこともできます。

表1に，「教訓」に関する2つのデータベースの特徴を示しています。「3.11 からの学びデータベース」は，研究者とキュレーター（データベース管理者）が，「教訓」の一つ一つを編集して掲載しています。そのため，多くの「教訓」をアップロードすることはできません。他方，「震災文献教訓データベース」は，発行されている学術論文や報告書の結語部分を機械的に抽出・整理して，大量の「教訓」を掲載しています。一方で一つ一つは精査しておらず，内容に重複があるものもあります。このように，2つのデータベースは，質と量の面の特徴を相互に補完しています。

表1 2つのデータベースの特徴

	対象となる 災害	情報源	質	量
3.11 からの 学びデータベース	東日本大震災	研究者による 登録	○	△
			研究者とキュレーターによっ て一つずつ編集	
震災教訓文献 データベース	東日本大震災, 明治・昭和三陸 地震津波, 阪 神・淡路大震災, 中越地震, 中越 沖地震	公開されてい る学術論文・ 報告書(結語 部分)	△	○
			大量の論文・報告書を機械的に 整理	

なお, 本データベースは, 次の助成をいただいています。

「3.11 からの学びのデータベース」

科学研究費 基盤研究 (S)「国難」となる最悪の被災シナリオと減災対策  
(代表: 河田恵昭 (関西大学), 分担: 今村文彦 (東北大学))

「震災教訓文献データベース」

文部科学省委託事業「南海トラフ広域地震防災研究プロジェクト」  
(サブテーマ1 地域連携減災研究

①東日本大震災の教訓活用研究 (主幹: 東北大学災害科学国際研究所))

【資料】

3.11 学びデータベース 3.11からの学びデータベース  
-IRiDeSから発信する東日本大震災の教訓空間-

トップページ 調べる 3.11からの学びデータベースとは 関連リンク

自治体

登録者  
丸台浩明 (12)  
富田博秋 (7)  
村尾修 (7)  
伊藤葉 (4)  
ザンバシエ・アナソット (2)  
次の5件 >>

対象  
自治体 (63)  
住民 (28)  
国 (19)  
医療機関 (9)  
企業 (5)  
次の5件 >>

カテゴリ  
津波避難 (8)  
被害想定 (6)  
組織対応 (5)  
建物被害 (4)  
災害情報 (4)  
次の5件 >>

フェーズ  
事前 (35)  
応急 (27)  
復旧・復興 (17)  
緊急 (16)  
事前、応急 (1)  
次の5件 >>

場所  
沿岸 (12)  
被災市町村 (3)  
大都市部 (1)  
次の5件 >>

検索結果一覧

ID	知見	フェーズ	対象	カテゴリ	場所
LL0002	災害情報の「時間」と「精度」のトレードオフを知る。	緊急	住民 自治体	津波避難 災害情報	沿岸
LL0003	「メディアに出ない被災地」があってもいけない。	応急 復旧・復興	マスコミ 自治体	災害報道	被災市町村
LL0004	被災地外からの復興応援職員を確保するために関係市町村による連絡会議を設置すると良い。	復旧・復興	自治体	復興支援	被災市町村
LL0005	工場、オフィス、商店など、仕事場の耐震対策、減災対策をしっかりと行うことが、人道的のみならず経済原理の観点からも妥当になるように、社会システムを整備していく必要がある。	事前	国 自治体 企業	耐震 耐倒防止	工場・オフィス・商店
LL0006	復興まちづくりを行う上で、住民と行政との地区レベルの協働まちづくりを組織的に日頃から進めておく必要がある。それが、都市マスタープランの策定など、空間像の共有も含んだものであれば、なお望ましい。	復旧・復興	住民 自治体	まちづくり 市民参画	
LL0007	地域のハザードを、歴史を深く遡ってよく知る。	事前	住民 自治体	ハザード評価	沿岸
LL0008	津波ハザード評価の「不確かさ」を知る	事前	住民 自治体	ハザード評価	沿岸
LL0009	津波リスクを定量化して、適切な防災判断を推進する	事前	自治体 土木コンサル	被害想定 建物被害	沿岸

図3 検索結果の表示例（「3.11からの学びデータベース」）

3.11 学びデータベース 3.11からの学びデータベース  
-IRiDeSから発信する東日本大震災の教訓空間-

閉じる

被災地外からの復興応援職員を確保するために関係市町村による連絡会議を設置すると良い。

東日本大震災の被災地では、発災から復興に向かう過程で、復興対応業務が新設・拡大し、深刻な人材不足が発生していました。宮城県では、このような状況に対して、「市町村復興関係職員確保アクション・プラン」を作成し、人事関係者による連絡会議を設置し、需要・不足状況の迅速な把握のほか、全県・全国的な人的資源の採用・派遣を実施しました。被災市町村が一同にかり、人材不足状況について状況認識を統一することで、限られた人的資源の効果的配分や、基礎自治体の派遣要請等の負担軽減が図られました。

作成日（撮影日）： 2015/03/11  
登録者： 佐藤翔輔  
フェーズ： 復旧・復興  
対象： 自治体  
カテゴリ： 復興支援  
場所： 被災市町村

宮城県沿岸15市町における不足人数

宮城県における人的不足への対応  
市町村関係職員確保アクション・プラン

- 「市町村復興関係職員確保アクション・プラン」の作成（2012年1月設置）
- 「プラン」に基づき、関係市町村が連携し、宮城県の関係機関・団体（福祉・労働委員会）と連携し、関係市町村の復興関係職員確保アクション・プランを作成・実施
- 「プラン」に基づき、関係市町村が連携し、関係市町村の復興関係職員確保アクション・プランを作成・実施
- 「プラン」に基づき、関係市町村が連携し、関係市町村の復興関係職員確保アクション・プランを作成・実施
- 「プラン」に基づき、関係市町村が連携し、関係市町村の復興関係職員確保アクション・プランを作成・実施

関連する学術論文・資料等

- 佐藤翔輔, 今村文彦, 林善男: 東日本大震災における被災自治体の人的資源運用に関する分析 - 宮城県石巻市を対象にして -, 地域安全学会論文集, No. 21, pp. 169-177, 2013.11

登録者の他の教訓（コンテンツ）

- LL0003 「メディアに出ない被災地」があってもいけない。

図4 「教訓」の表示例（「3.11からの学びのデータベース」）

**3.11** 学びデータベース **3.11からの学びデータベース**  
 -IRIDeSから発信する東日本大震災の教訓空間-

[🏠 トップページ](#)
[🔍 調べる](#)
[3.11からの学びデータベースとは](#)
[🔗 関連リンク](#)

🔍 調べる 🔍 検索

登録者	対象	カテゴリ	フェーズ	場所
松本行真	自治体	受援計画	事前	医療機関
日野亮太	<b>住民</b>	<b>津波避難</b>	応急	沿岸
杉浦元亮	医療機関	災害医療	緊急	被災市町村
越村俊一	国	建物被害	復旧・復興	海底
サッパシー・アナ ワット	企業	災害情報	事前, 応急	大都市部
井内加奈子	研究機関	組織対応		工場・オフィス・商店
<b>今村文彦</b>	気象庁	被害想定		気象庁
佐藤翔輔	マスコミ	ハザード評価		海洋
千田浩一	政府	健康問題		物資輸送の各現場
安倍祥	研究者	こころのケア		都心部
栗山進一	医療会館	コミュニティ		
福谷陽	土木コンサル	津波被害		
細井義夫	学会	BCP		
	学校	災害伝承		

図5 詳細検索の表示例（「3.11からの学びデータベース」）